



議会広報

2023.3

令和5年

No.180

いりもてム



TOPICS
トピックス

いめんしより3月定例会へ P2~P3

- ・一般質問 飼料・物価高騰支援は? P4~P12
- ・私たちの未来 P16
- ・あの質問・質疑はどうなった!? P18



さとうきび収穫
島全体で、6,600トン
見込んでるっちゃん!!

問

答

問

島で多い苗字ランキング
トップ10は?

答

伊江島広報「イーハッチャー」
3月号に掲載!

今月の
表紙紹介
P18

広報紙を読もう 連携企画第2弾

4月から始まる新年度予算、一般質問、条例制定・改廃、報告、承認、補正予算などを審議し、村長が施政方針を述べます。
その為、1年間の中で一番長い定例会となります。

過去3年の ●3月定例会

	令和2年	令和3年	令和4年
会期日数	10日間	11日間	15日間
議案数	33件	30件	32件

●当初予算

(単位:千円)

会計名	令和2年度 予算額	令和3年度 予算額	令和4年度 予算額
一般会計	7,476,000	8,630,000	6,925,000
診療所特別会計	328,000	349,800	361,000
国民健康保険特別会計	953,000	966,700	983,500
後期高齢者医療特別会計	67,800	66,300	65,700
船舶運航事業会計	920,295	896,784	958,073
水道事業会計	199,356	194,731	185,313
合計	9,944,451	11,104,315	9,478,586

果たして
令和5年度は!?



議会を 見る・聞くには?

A. 議会傍聴の手続き(年齢、住所、名前)、体温測定をし、傍聴の際のルール(傍聴人心得)を確認し、傍聴席についてください。



伊江村議会

傍聴人心得(抜粋)
静かに傍聴する。
写真撮影または録音等
をしてはならない。
ルールを守らない場合
は退場させられること
もある。



▶ 3月定例会予定

3月7日(火)午前10時～

議会傍聴を希望される方は、議会事務局(☎49-2924)へお問合せ下さい。
また、新型コロナウイルス感染症の影響によりご遠慮いただく場合がございますのでご理解ください。

見れます 聞けます



3月定例会

お待ちしております

令和4年 3月定例会 の場合 (新年度 予算抜粋)

新年度予算を
6日間かけて
審議しました



3月8日	本会議	一般会計予算(説明・質疑) 診療所特別会計予算(説明・質疑) 国民健康保険特別会計予算(説明・質疑) 後期高齢者医療特別会計予算(説明・質疑) 水道事業会計予算(説明・質疑) 船舶運航事業会計予算(説明・質疑)
	委員会	一般会計予算(説明)
3月9日	委員会	一般会計予算～船舶運航事業会計予算(説明)
3月11日	委員会	一般会計予算(質疑)
3月14日	委員会	一般会計予算(質疑)
3月15日	委員会	診療所会計予算～船舶運航事業会計(質疑)
3月16日	委員会	一般会計予算～船舶運航事業会計予算(討論・採決)
	本会議	一般会計予算～船舶運航事業会計予算(討論・採決)

法律で村の予算を決めるには議会の議決が必要とされています。村長は新年度予算を立案し、通常3月の定例会に提出します。提出された予算は、議長を除く全議員で構成される**予算審査特別委員会**において詳しく審査された後、**本会議**で採決します。

採決の方法は？

A. 伊江村議会は、新年度予算や人事などの案件(副村長・教育長の任命など)は、起立採決を行っています。その他については、口頭による採決(異議がないか聞く)で行われています。

令和4年 活動報告

◆議会開会数 (定例会4回、臨時会6回)

◆一般質問

議会	人数	件数
3月定例会	5	8
6月定例会	5	6
9月定例会	4	4
12月定例会	9	13
合計	23	31

◆議会傍聴人数

議会	人数
3月定例会	17
6月定例会	9
9月定例会	9
12月定例会	0
合計	35

◆意見書及び決議

- 伊江村立診療所の医師確保に関する意見書及び要請決議書 (3月22日)
- 在沖米軍によるパラシュート降下訓練中における提供施設区域外へのパラシュート落下事故に対する意見書及び決議書 (7月12日)
- 駐留軍関係離職者等臨時措置法の有効期限延長に関する意見書 (9月15日)

子育て支援日本の島を目指して入学準備金及び島建ち準備金の助成はできないか

村長 財政面や扶助的性質を十分に踏まえ検討したい

進することはできないか。



一般質問の詳細については、ホームページの第10回定例会をご覧ください

ここを問う

問 本村で生まれる子どもの数は年々減少し、ここ10年の1年平均の子どもの産まれる人数は35.2人となりその反面、**鬼籍**に入る人数は57.5人となり、このままでは村の人口は減少の一途を辿ることになる。島の人口減少を食い止める為にも子どもを産み育てやすい環境を作る責務があると感じている。今後は子育て支援を充実させ「子育て支援日本一の島」を目指してはどうかと考える。子育て支援の一つとして入学する時は入学準備金、中学を卒業する時には島建ち準備金を助成することはできないか。

答 **村長**

村の人口減少及び少子高齢化問題は喫緊かつ重要な課題と位置付け、今後において重点事項として施策を講じていく必要があると認識している。

小中学校入学時の支援として就学援助支給制度により要保護、準要保護世帯の児童生徒を対象に学用品費等の支援を行って

り、高校、大学の進学時には村人材育成会の入学準備金貸与制度により支援を行っている。ご提案の制度創設については財政面や扶助的性質を十分に踏まえ「第5次伊江村行政改革大綱」を考慮しながら検討したい。

イージマグチを残す活動を推進できないか

教育長 「イージマグチによるお話大会」の開催を検討したい

問 私の小中学校時代は標準語励行で方言は禁止された時代だったので標準語もイージマグチもちゃんと話せない中途半端な言葉になってしまった。今イージマグチが消滅しかけ、後世に残す努力をしなければならぬと考えている。行政が音頭を取り「イージマグチによるお話大会」等を開催し消えかかったイージマグチを残していく活動を推

答 **教育長** 玉城洋之 教育委員会では村文化協会の「島ふとうば語り部の普及啓発に取り組んでおり、ご提案の「イージマグチによるお話大会」についても文化協会と連携して開催を検討したい。

問 伊江小学校の学習発表会を観覧したがあらゆる場面でイージマグチが使われている。副村長をはじめとする地域の方々の協力で実施されていると思う。イージマグチが消滅することの危機感を村民が共通認識してもらうことが大切だ。

答 **教育長** 玉城洋之 地域・学校が連携して村や学校行事、地域の行事を勘案しながら総合的に判断したい。



しまふとつばの日(令和3年度YouTube配信)

- ※1 鬼籍(きせき)に入る 人が亡くなった事を意味する。
- ※2 標準語励行(ひょうじゅんごれいこう) 沖縄の小学校では方言を禁止し、標準語を普及させるための標準語教育が行われていた。

つぶやき

要保護、準要保護の制度も承知しており、その助成対象はわずかな人数である。平成16年当時の島袋清徳村長が財源も少ない中「出産祝い金制度」を1万円からスタートさせた。平成26年からは現在のように大幅に増額され子育て世代から大変喜ばれている。まずは少額から財源を工面して制度を創設すべきだと思う。



しまぶくろ よしのり 島袋 義範 議員

村民レク広場(ゴルフ場内と駐車場)のコバテイシ(クワディーサー)の伐採について問う

村長

今後は十分な協議を行い取り組んでいく

村政の



問 村民レク広場は、2002年オープンし、今年で20年になった。レク広場の全てのコバテイシは設計段階から村と専門家が協議、吟味の上「木陰と場内緑化」を目的に植栽された

間。設計段階の目的が達成できた矢先だったにも関わらず、コバテイシは無残に切り倒されていることへの強い苦言があった。伐採が何の目的で行われたか。

答 村長

10年ほど前から毎年のように落葉の清掃は朝勤務1人体制で行っている。特にチャリティーコンペや多数が集まるコンペ時にはゴルフ場の職員の配置に支障をきたし、毎年秋口には枝を全て切り取っていた。剪定に

する目的でコバテイシの伐採を行ったことである。

問 村との相談はあったのか。

答 村長

その解決方法として、代わりにリュウキュウマツを植栽し成長過程をみながら、後に伐採したいと前村長へ相談したことを社長より伺っている。

問 伐採箇所の植栽計画はどうか。

答 村長

駐車場の伐採箇所の隣に、リュウキュウマツを今年の3月に植栽した。ゴルフコース内にも落ち葉の少ない樹木、エラブ・フクギ・クロキ等を植栽しており、今後はハイビスカス・ユリ・ヒガンバナ等も増やしていく計画である。また伊江中3



ゴルフ場駐車場の伐採されたコバテイシ (クワディーサー)

年生による記念植樹も予定されている。

問 村長の率直な見解は。

答 村長

管理上の問題で伐採に至ったことだと認識している。しかし、リュウキュウマツの成長過程をみながら伐採するとのことで前村長と相談されたことを踏まえても、突然伐採されたことに対しては納得できない部分もある。今後、樹木伐採等に関しては伊江島カントリークラブ取締役役員会において十分な協議を行い、取り組んでまいりたい。

※3 コバテイシ (クワディーサー)

樹木の上方が横に広がり、葉が大きい。沖縄では貴重な木陰を提供し、街路樹、緑陰樹として多用される。果実は食用にもなる。



かめざと としろう
亀里 敏郎 議員

加速する少子化、人口減少対策への支援拡充を

村長 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めていく

本村における人口減少対策として、移住定住促進に向けた施策はまだ途についたばかり。また、子育て支援については、妊娠、出産、

は児童数のバランス、生活の利便性を考慮し、伊江小校区で検討している。

育児、就学等を通じて切れ目なく支援されていることは了知している。しかしながら、その支援策を他自治体と比較したとき、質量ともに十分ではない状況が感じられる。高校がない離島では「15の島建ち」で保護者にかかる負担が増しているのが現実。「子どもを生み育てやすい伊江島」を標榜するため、更なる子育て支援策の充実を図るべきではないか。

問 村の人口はここ10年余りで約350人減少している。特に生産年齢人口（15〜64歳）の減少が著しく、この世代を島に取り込むことが喫緊の課題ではないか。「子どもを生み育てやすい伊江島」をアピールする上でも保育・給食費等の無償化を図れないか。

問 伊江村移住定住促進に向けた基本計画では15戸を整備するところだが確定戸数は何戸か。また、伊江小校区、西小校区のいずれに建設を考えているのか。

答 国は令和元年10月から「幼児教育・保育の無償化」を実施し、幼稚園や保育所を利用する3歳から5歳児クラスの子どもたち、及び住民税非課税世帯の0歳から2歳児クラスまで利用料が無料となっている。村としても課税世帯の2歳児以下の保育料については、2人目半額、3人目以降無料、更に村独自の事業として減免対象外を含め、全ての子どもたちの半額助成をしている。保育所の給食費は

3歳児のみ1人あたり月500円を徴収しているが、実際は月7,500円で、この減免事業は名護市に次ぐ大幅な減免となっている。学校給食費の保護者負担額は、幼稚園で月額1,000円、小学校1,900円、中学校2,250円。更に第3子以降の全額免除を行うなど、子育て世代の負担軽減を図っている。「受益者負担の原則」を念頭におき、その一部を担ってもらうことで、公共サービスがあることの意義を認識してもらうことも必要な取り組みだと考えており、現段階では無償化は考えていない。これからも健全育成の拡充を図り、子どもが健やかに育つ環境づくりを進めていく。



東村定住促進住宅（集合型） 写真提供：東村役場

つぶやき

村移住定住促進策はどの自治体でも対応に苦慮しているところで、仕事、住む場所、子育て支援策等を講じ、移住定住を推進している。本村の子育て支援策は他自治体と比較しても充実していることは理解している。行政サービスのあり方、受益者負担を子ども、保護者への教育の見知から無償化は考えていないとあるが、移住定住促進を図るうえから無償化はアピールになるはず。これからも支援策の拡充、充実を図れるように提言していきたい。



あぶえ おさむ 議員
蛇江 修

答 村長 基本計画書には15戸の整備を盛り込んでいたが、内閣府との協議の結果12戸になった。建設予定地

さとうきび生産の持続性に向けて村の対策は

村長 堆肥キャンペーン等、引き続き農家支援ができるよう取り組んでいく

問 さとうきびは葉タバコ、島らっきょう、冬瓜、紅芋等の輪作栽培に

おいて、なくてはならない作物である。生産現場では、生産資材価格や特に肥料価格の高騰により農業経営は逼迫している中、さとうきびの生産者交付金単価は3年連続据え置き、価格の1トン当たり1万6,860円と決定しており、生産農家は、より厳しい状況が続いている。さとうきび生産の持続性を確保するためにも、村の対策が必要であると考える。令和4年度堆肥センターの農家支援事業の継続はできないか。

答 村長

令和4年度は、昨今の物価上昇を鑑み7月から12月をキャンペーン期間として、堆肥価格を5割引とし、運搬料、散布料を無料として実施している。支援キャンペーンの継続については、本議会終了後、速やかに堆肥センター運営委員会を開催し、引き続き農家支援が継続できるように取り組んでいく。

答 農林水産課長 浦崎悟

さとうきびの株だし等にも対応するように速やかに検討委員会と協議していきたい。今年度、一括交付金で自走式攪拌機という堆肥製造のスピードを各段に上げるような機械も納品される。早く堆肥の製造を行って、農家に還元する。

問 さとうきび作付面積90ヘクタールの縛りを撤廃できないか。

答 村長

分蜜糖工場は原料不足の影響により、平成15、16年度の操業を最後に閉鎖された。その後、原料規模に合った黒糖工場の建設は、平成22年1月28日に、JAおきなわ中央会会長を立会人として、伊江村長とJAおきなわ経営管理委員長及び理事長の4者によって90ヘクタールの収穫面積を遵守することが明記された合意書を締結し現在に至っている。現在、県内8つの黒糖工場は在庫を約3,300ト

ン抱えており、早期に合意を撤廃することは困難だと思慮する。中長期的に関係機関の理解が得られるよう、今後も取り組んでまいりたい。

問 今年89.33ヘクタールのうち夏植え面積が66.76ヘクタールで、前年度より16ヘクタールも増えている。夏植えは作付けから収穫まで1年半かかる。株出しは1か年で収穫できる。株出しを夏植えから移行していくと90ヘクタール以上になるのではないか。

答 村長

今後株出しが増え、90ヘクタールに迫った状況になっている。本村の黒糖工場建設に、関係団体の合意を取り付けるのに苦慮した経緯もある。さとうきび90ヘクタール生産面積拡大を粘り強く関係団体とは協議、調整、理解を得られるように取り組んでいく。



黒糖工場ヤード内に積まれたさとうきび



ちねん くに お 知念 邦夫 議員

※4 輪作栽培

同じ畑に異なる種類の作物を、一定の順序で周期的に代えて栽培することをいう。

※5 分蜜糖工場

さとうきびを搾って煮詰めて結晶だけを取り出したものを分蜜糖という。原料糖を生産し出荷する所。グラニュー糖、角砂糖等の原料となる。

村の人口減少対策に向けて

村長 地域の実情とニーズにあった補助事業や関係機関と協議調整を行う

問 本村は少子高齢化等の影響を受け、人口減少が徐々に進行している。減少の要因として雇用先が少なく、所得減少の不安や住まいの確保の問題もあり、特に地域経済活動に影響を与える生産年齢人口（15歳以上65歳未満）の減少が深刻な状況である。農水産業の所得向上につながる規模拡大や作業の省力化に対し機械化への支援・補助事業等はないか。

答 村長 本村は少子高齢化等の影響を受け、人口減少が徐々に進行している。減少の要因として雇用先が少なく、所得減少の不安や住まいの確保の問題もあり、特に地域経済活動に影響を与える生産年齢人口（15歳以上65歳未満）の減少が深刻な状況である。農水産業の所得向上につながる規模拡大や作業の省力化に対し機械化への支援・補助事業等はないか。

答 村長

沖縄県産地パワーアップ事業を活用し、トラクターや冷蔵庫、マニアスプレッターの導入、また、令和4年度は、新規就農者向けの支援として、新規畑人（ハルサー）資金支援事業として、年間最大150万円を支援事業としてトラクター等の購入支援に取組んでいる。園芸作物生産振興対策事業を活用し、葉物の栽培農家3戸が平張施設を整備する計画である。今後も関係団体等との連携

を図り、地域の実情とニーズに合った補助事業を活用できるよう取り組む。

問 多大な雇用確保や滞在型観光が期待できる大型宿泊施設の誘致に向けた取組はあるか。

答 村長 観光振興、地域活性化、雇用の創出等を図るべく、これまでホテル誘致を推進し、取り組んできたが、昨今のコロナ禍における経済状況の不安定さを理由に、数件のホテル建設計画が断念している状況となっている。今後も国及び県のホテル誘致に関する施策の動向や観光ニーズの現状把握に努めるとともに、関係機関と協議調整を図りながら引き続き誘致に向けた取組みを行う。

問 令和4年度に実施設計の移住定住促進住宅の進捗状況と、さらなる公営住宅建設の計画はあるか。

答 村長 伊江小学校校区内で複数の候補地の用地交渉を行ったが、建設場所はまだ決まっていない。年明け1月中の実設計業務の着手に向け、早急に建設予定地を決定したいと考えている。現計画においての計画戸数は満たされており、さらなる公営住宅建設の計画は今のところ予定していない。

答 村長

伊江小学校校区内で複数の候補地の用地交渉を行ったが、建設場所はまだ決まっていない。年明け1月中の実設計業務の着手に向け、早急に建設予定地を決定したいと考えている。現計画においての計画戸数は満たされており、さらなる公営住宅建設の計画は今のところ予定していない。

城山の麓（旧公民館北側）駐車場に公衆トイレの設置を

村長 観光客の駐輪場実績等を調査していく

問 リリーフィールド公園や青少年旅行村には2か所以上の公衆トイレが設置されている現状だが、城山の麓の駐車場にも公衆トイレを設置できないか。

答 村長 徒歩で島内を観光する客やサイクリングを楽しむ学生らに対し、城山中腹に公衆用トイレが整備されている旨の記載した案内板を設置して誘導するなど対策を図るとともに、まつり以外での観光客の駐輪実績等を調査していく。



城山の麓（旧東江上公民館北側）駐車場



しまぶくろ つとむ 島袋 勉 議員

物価高騰に対する支援策は

村長 交付金等の活用を図りながら、的確・迅速に対応できるように取り組んでいく

問 全国的な物価高騰は、村内物価にも波及し、食料品を始め燃料、農産物の飼料、肥料等の物価高騰の波は、村民の家計に大きな負担となり深刻な状況になっている。令和5年も厳しい物価高騰の波が押し寄せることが予測されるが、今後の物価高騰に対する支援策は。

答 村長

コロナ禍から村民の健康と命を守り、安心・安全な生活環境の確保に向けたきめ細やかな支援を行うとともに、令和5年度においても**地方創生臨時交付金**等の活用を図りながら、物価高騰により景気が低迷しているすべての産業活動への支援を、躊躇なく実効性のあるものとし、**必要な時期に的確・迅速に対応できるように取り組んでいく**。

問 沖縄県が物価高対策支援金として事業者に対し、支援を実施されているが、村内の宿泊施設などが、電気料金等の高騰で苦しいときに支援ができるのか。

答 商工観光課長 金城幸人
県では沖縄物価高対策支援金という事業が始まっており、原油高や物価高による影響を受け、燃料費、電気、ガス料金、原材料費に係る経費が増加した事業者が対象となっている。村内のホテル、または民宿等が該当するか確認し、該当するのであれば周知をしていきたい。

今後の港湾整備計画

村長 **フェリー避難係留施設の整備等、沖縄県へ引き続き要望していく**

問 伊江港では、台風の影響による港内うねり対策として、**伊江港港内静穏度向上整備事業**に着手し、これまで波除堤や消波ブロックの設置、現在進めている岸壁改良工事を、令和4年度で終え同整備事業が完了すると聞いている。港湾整備は島の将来を展望した重要な政策であり、関係機関と詳細に協議する必要があると考えるが今後の整備計画は。

備計画は。

答 村長

現在、台風時にフェリーは連天港へ避難していることから移動に時間を要しており、欠航回数が多くなる要因と思われることから、台風通過後、直ぐに運航できるように伊江港西側（大口港）にフェリー避難係留施設の整備、さらに、プレジャーボート専用岸壁の整備を関係機関と協議しながら引き続き、沖縄県へ要望していく。

問 伊江港の西側に係留施設を計画した場合、現在の港湾施設にはどのように影響があるのか。



フェリー避難係留施設やプレジャーボート専用岸壁の要望をしている大口港

※6 地方創生臨時交付金

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかな事業を実施できるようになった。

※7 伊江港港内静穏度向上整備事業

外海から進入したうねりが港内で増幅し、係留中の船舶が大きく動揺する現象を解消するため、岸壁改修及び防波堤等の整備を行うものである。

※8 泊地

港湾において船舶を停泊させる水域。

※9 しゅんせつ

海などにおいて、底に堆積した土砂をすくい取り水深を確保する作業。

答 建設課長 知念利次
大口港の港湾施設の係留施設を整備する為には、現在ある浮桟橋の移設、接岸岸壁を整備する為、フェリーの長さ2倍の港が必要であり、その工事に伴い、現在ある南防波堤の移設や内防波堤の若干の撤去、**泊地のしゅんせつ**等の影響があると考えられる。



なみざと はるお
並里 晴男 議員

飼料価格高騰、子牛価格下落に伴う畜産農家への支援は

村長 地方交付税を活用して、支援が行えるよう取り組んでいきたい

問 近年の畜産農家を取り巻く環境は大変厳しく、原油価格の高騰、円安等の影響により飼料価格が高騰、さらに追い打ちをかけ子牛価格の下落傾向が続いている。11月15日に行われたセリ実績によると、子牛平均価格が52万7,711円で、前年同月セリ価格と比較すると14万5,033円値下がり、平均価格が畜産経営の採算ラインと言われる58万円を割り込み、経営的に厳しい状況に立たされている。

J Aが取りまとめを行いトン当たり6,750円を補助する事業等が開始される予定である。

しかし配合飼料の価格上昇ペースが速く、当該事業のみでは十分な負担軽減とはならないと認識しており、今後、国の物価高克服等に関連した財政出動を注視し、村独自の配合飼料高騰対策に対する支援が行えるよう取り組んでいきたい。

飼料価格高騰、子牛価格下落に伴う畜産農家経営への影響を緩和し、安定的な経営維持に向けた支援策を講じることが必要不可欠と考えるが、経営安定化に向けて配合飼料支援金事業及び子牛生産基盤の強化に向けて再度、**子牛生産奨励金事業**の展開はできないか。

答 村長

配合飼料に対する事業については、県による**配合飼料高騰対策事業**が創設され、令和4年10月から12月に購入分の配合飼料に対し、

子牛生産奨励金事業については、過去に平成8年から平成19年まで子牛1頭あたり3,000円の補助を行っており、畜産経営における子牛生産拡大意欲の向上と子牛生産基盤の強化に一定の効果があったものと思慮している。伊江村和牛改良組合等の関係団体と事業の必要性や優先順位などを協議していきたい。

問 今後も飼料価格高騰が収束を見通せない状況にあり、国、県の補助事業を最大限に活用するとともに、**村独自の畜産農家の負担を**

軽減する対応策をスピード感と危機感を持って、早急に取り組むべきと考えるが。

答 村長

総合経済対策の事業と地方交付税を活用して飼料の高騰分についての支援は、前向きに取り組んでいきたい。

問 子牛生産奨励金など、行政支援策を求める畜産農家の切実な声がある。今後も子牛取引価格が予断を許さない状況下であり、この事態を深刻に受け止めて支援策を打ち出す考えはないのか。

答 農林水産課長 浦崎 悟

和牛改良組合から事業の要請があり優良雌牛繁殖導入事業の新年度に向けた事業計画及び事業の優先順位を精査しながら取り組んでいきたい。



値段が高騰している飼料



みやぎ ひろかず
宮城 弘和 議員

※10 子牛生産奨励金事業

家畜登録協会に登録された子牛に補助金を交付する。

※11 配合飼料高騰対策事業

配合飼料価格安定制度による補填金とは別に、令和4年度第3・4半期に、生産コスト削減等に取り組む生産者に対して補填金を交付し、実質的な飼料コストを第2・4半期と同程度水準とする。

飼料、肥料、燃料の高騰と子牛価格の低迷による畜産農家の経営危機を救う考えはないか

村長 村独自の配合飼料高騰対策に対する支援が行えるよう取り組んでいく

問 畜産業は肥料、飼料、燃料の高騰に加えて子牛価格の低迷により経営が危機的状況である。子牛は血統が良くても増体率が悪いと買いたたかれるため、ミルクや濃厚飼料を減らすわけにはいかない。子牛1頭当たりの生産費は、40万円以上かかる。牧草を作るための肥料代、燃料代の値上げと飼料代の値上げで経営は非常に厳しい。

先般、化学肥料費に対する支援制度が始まった。内容は、秋肥の価格上昇率は40%となっているが、村の上昇率より低く設定されている。価格上昇率は、よく使用される肥料を実情に合った上昇率に設定するべきではないか。子牛用のミルクが令和3年4月から6月に比べ、令和4年10月から12月は20キログラムで5,599円、56%の値上げで1万5,670円へ、チカラが29%、モウキッズが21%の上昇となっている。島の基幹産業に対して持続可能な対策を急ぐべきだと考えるが。

答 村長

畜産農家を取り巻く状況は大変厳しいと認識している。

農林水産省が実施する「※12農業物価統計調査」に基づく、農業物価指数を基に農産局長が別途定めた単一の上昇率を採用している。国が単一の上昇率を採用している背景には、作物ごと使用する肥料が異なることから、肥料ごとに上昇率を設定した場合、種類ごとに計算が発生し、迅速な事業執行に支障があること等が原因だと推察される。

このような理由等から村事業においても国同様に単一の上昇率を採用している。

配合飼料に対する事業として、国、県による配合飼料高騰対策事業が創設され、令和4年10月から12月に購入分の配合飼料に対し、JAが取りまとめを行いトン当たり6,750円を補助する事業等が開始される予定である。

しかし価格上昇ペースが速く、当該事業のみでは十分な負担軽減とはならないと認識している。今後は、国の物価高克服等に関連した財政出動を注視し、村独自の配合飼料高騰対策に対する支援が行えるよう取り組んでいく。

問 農協の肥料の値上げ率を調べ、村の補助率をあげるべきではないか。

答 農林水産課長 浦崎悟

JAが売っている31種類の肥料の中で40%以上上昇しているのが14種類という調査結果である。農家それぞれの作物によって投入する肥料が異なることから、もう一度詳しく精査したい。

答 村長

今回地方交付税の一部改正が行われているので、その財源を活用しながら100%に近づけるぐらいの努力をしたい。いずれにせよ値上がり分については遡^{さかのぼ}って支援できる方向で検討していく。

問 子牛の価格がなかなか上がらない原因の一つに、購買者が少ないということがある。購買者を増やす努力も必要ではないか。

答 村長

トップセールスをするかどうかを含め、購買者を増やすような努力をしていくために、北部でセリ市を開催している今帰仁村長も含めて、話し合いをしていきたい。



令和5年1月初セリ市で高値で取引された子牛



なかみのる 名嘉 実 議員

※12 農業物価統計調査

農業における投入・産出の物価変動を測定するために、農業経営に直接関係ある物価を把握し、その結果を総合して、農業物価指数を作成する調査の事。

役場庁舎管理人(夜間宿直)の体制は

村長 2名体制で、業務委託契約を行っている

問 イーハッチャー10月号に伊江村役場庁舎管理人(夜間宿直)の募集広告が掲載されている。主な業務内容として、庁舎の施設管理・戸締り等、電話及び来客の対応・各種届出の受付、緊急搬送に関する

こと、その他指示することとなっている。勤務時間が午後5時15分から翌朝の8時30分(シフト制)となり、土日、祝祭日、年末年始勤務有、給与が月額7,000円で募集している。夜間宿直の管理人には緊急を要する事案対応など、消防団員と共に安全、安心で暮らせる村づくりを寄与されていると認識している。

答 村長 夜間宿直員2名で月の勤務可能日を調整し日割りローテーションで勤務している。勤務時間は午後5時15分から翌朝8時30分まで、内訳として休憩時間1時間、仮眠

問 時間6時間30分、実労働時間7時間45分の合計15時間15分となっている。

答 村長 実労働時間7時間45分を時給900円で勘案して算定している。今後も役場庁舎管理人が必要であり、夜間の業務内容を継続して行っていく必要があるため、消防本部員とも相互理解を図りながら、安全安心な村づくりに努めたい。

問 土日、祝祭日、年末年始勤務などの休日労働の超過勤務手当は支給されているのか。

答 村長 会計年度任用職員などの雇用形態とは異なり、業務委託契約を行っていることから支給されていない。

問 給与月額7,000円の根拠は。

答 村長

900円で勘案して算定している。今後も役場庁舎管理人が必要であり、夜間の業務内容を継続して行っていく必要があるため、消防本部員とも相互理解を図りながら、安全安心な村づくりに努めたい。

浸透池囲いフェンス上部の有刺鉄線は必要か

村長 侵入または事故等の未然防止対策の観点から、有刺鉄線必要である

問 農地保全整備事業、基盤整備促進事業などで整備されている浸透池の整備済み箇所をみると、フェンス上部の有刺鉄線の劣化箇所が何か所かに見られる。

有刺鉄線は、見る者は威圧感を感じ、景観も良くない。また構造上早く劣化が進み、安全面で外部へ及ぼす影響も気になるところである。過去の整備済み箇所でも、浸透池囲いフェンス上部に有刺鉄線のない構造地もある。

今後整備予定の、浸透池囲いフェンス上部の有刺鉄線は必要ないと考えるが。

答 村長 浸透池囲いのフェンス上部に係る有刺鉄線は、侵入防止対策及び事故の未然防止対策において重要



うちま ひろき 内間 広樹 議員

なことであると思慮している。今後整備予定の浸透池についても、農地保全整備事業及び農業基盤整備促進事業等の補助金等を活用し、県の設計積算要領に基づいた設計・施工方法が必要な個所については、侵入または事故等の未然防止対策の観点から、有刺鉄線のある浸透池として整備を予定している。



有刺鉄線がない浸透池

議決の結果

令和4年 第9回臨時会

会期：11月30日(水)

議案番号	件名	議決月日	議決結果
報告第16号	伊江村畜産総合施設整備工事（R3）建築の専決処分の報告について	11月30日	原案報告
報告第17号	伊江村畜産総合施設整備工事（R3）土木の専決処分の報告について	//	//
報告第18号	伊江中学校教員宿舍新築工事（建築・周辺整備）の専決処分の報告について	//	//
議案第59号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//	原案可決
議案第60号	令和4年度伊江村一般会計補正予算（第5号）	//	//

第10回定例会

会期：12月13日(火)～12月15日(木)

議案番号	件名	議決月日	議決結果
議案第61号	沖縄県北部医療組合の設立について	12月15日	原案可決
議案第62号	伊江村税条例等の一部を改正する条例の制定について	//	//
議案第63号	令和4年度伊江村一般会計補正予算（第6号）	//	//
議案第64号	令和4年度伊江村診療所特別会計補正予算（第3号）	//	//
議案第65号	令和4年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	//	//
議案第66号	令和4年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	//	//
議案第67号	令和4年度伊江村船舶運航事業会計補正予算（第2号）	//	//

◆議案第61号 沖縄県北部医療組合 北部医療組合ってなに？

沖縄県県立北部病院と北部地区医師会病院を統合し、新たに設置する**公立北部医療センター**の設置主体となる。構成団体は、沖縄県、名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、伊江村、伊平屋村、伊是名村（1県12市町村）である。

共同処理する事務は以下の通りである。

- 1) 北部医療センターの建設整備及び管理運営に関すること。
- 2) 北部医療センター付属診療所の建設整備及び管理運営に関すること。
- 3) 北部医療センター及付属診療所における医療従事者の確保に関すること。



④ 沖縄県議会視察 2/3

新沖縄振興・公共交通ネットワーク 特別委員会 (11名)

座波一委員長をはじめとする委員会は、伊江島空港の現状及び活用推進に向けて視察・調査を行い、議員や村長含む執行部と活発な意見を交しました。

議長からは、「滑走路延長や米軍訓練空域の問題など解決する課題はありますが、現空港をいかにして利活用できるか、現在、村が行っている空港利活用調査策定後、次のステージに行けるよう県議会、村と共に力を合わせましょう。」と要請をしました。



④ 新たな離島振興 2/14

離島議員研修会・ 事務局職員研修会

離島議員、事務局職員が一堂に集い、那覇市の自治会館で研修がありました。沖縄県企画部地域・離島課課長山里永悟氏が「新たな離島振興計画について」と題し講演が行われました。



山里永悟氏による講演

④ これからの課題 2/15

町村議員研修会・ 事務局職員研修会

「令和5年度市町村予算と行政の課題について」沖縄県企画部市町村課課長森田賢氏の講演、また「沖縄農業の課題と解決提案について」農林水産省6次産業ボランティアランナーの加力鎌一氏の講演が行なわれ、今後の沖縄農業の課題について学ぶことが出来ました。





議会広報いえそんNo.179号 (12月号)

いえそん



しよーにん

生年の皆さんに

感想を聞いてみました。



自己紹介

昨年春に大学を卒業し、伊江中学校に入職しました。学習支援員として働いています。



議会広報「いえそん」を読んでの感想

村の現状と課題をイラスト、ページの工夫でわかりやすく作成されていて読みやすいです。また、決算の内訳や定例会の内容等が細かく書かれ、村政について普段見えない部分が見えるので勉強になります。



伊江村に対する意見や期待する事

高校、大学と島から離れて生活する中で、金銭面で両親に負担をかけたので、沖縄本島、県外で頑張る学生に向けて、今以上の金銭的支援の充実を期待しています。



名嘉山 正耶

なかやま しょうや

行政区 阿良区



大城 逸郎

おおしろ いつろう

行政区 東江前区



自己紹介

伊江貨物で働いて10年になります。皆様のもとに荷物を安心・安全・確実に配達します。



議会広報「いえそん」を読んでの感想

議員さんの積極的な取り組みに心から尊敬します。私も議会傍聴へ積極的に参加したいと思いました。



伊江村に対する意見や期待する事

村のために、これから住みやすい島にして頂きたいです。期待する事は、港に大きな倉庫等を建設してほしいです。



自己紹介

ポートサイド給油所に勤めています。みなさんの安心・安全・快適なカーライフをサポートします。



議会広報「いえそん」を読んでの感想

議員の皆さんは村民を代表して村を良くしようと、日頃から情報を収集し、行政に対して報告、改善を行っており、それに応えられるようお互いが努力し、村民の為に働いていることがわかりました。



伊江村に対する意見や期待する事

子どもからお年寄り、村民誰もが安心して暮らせる社会福祉の村として、身体の健康・心の健康・社会的な健康を推進し、より良い村(ゆいまーるな島)に期待しています。



嘉味田 美智子

かみだ みちこ

行政区 川平区



知念 邦子

ちねん くにこ

行政区 阿良区



自己紹介

西崎区出身の夫と阿良区民として30年余り地域の行事活動に参加し、協力させていただいています。建設業の事務をしています。働きやすい職場環境を従業員と共に努力しています。



議会広報「いえそん」を読んでの感想

議会傍聴をし、広報紙を読んで、住み良い村にするために議員の皆様と行政が事前調査等をし、わかりやすく記載されていると思います。



伊江村に対する意見や期待する事

産業等が活性化し、若い人達が帰って来やすい、雇用の場が広がってほしいです。全国的に高齢化が進んでいるなか、村も高齢者が多く、支援や憩いの場、安心して暮らせる環境作りをしてほしいです。

①伊江島のみんなが温かい所。小さい子やおじいちゃん、おばあちゃんまでみんなが元気で、いつでも笑顔がたえないところです。いつでも「伊江島だ」って思えます。

②伊江島の卒業生がここに住みたいとか、また伊江島に帰ってきたいという島にしたいです。

③プロバレー選手です。なる事が不可能って分かっててもあきらめなければ、不可能が可能になる事を証明したいし、いろんな人に伝えたいから。



東江上区

ちねん るか
知念 琉歌

①自然豊かで村民が優しい所。

②たくさんの人に愛される島、色んな人に伊江島を知ってもらい「また来たい」と思えるような島にしたい。

③まだ決まっていないが国際的に活動できる仕事について、たくさんの方の人と交流したい。

西崎区

うちま かな
内間 柑奈



①綺麗な海や自然に触れ合うことができ、地域の人たちが優しい。

②自然の豊かさをアピールし、観光客の方達がまた来たいと思えるような島にしたい。

③自分でブランドを立て、それを販売する仕事に興味があるので、そこで必要な知識などを勉強していきたい。



西江前区

ちねん ほん
知念 波音

3月に **卒業** **島建ち** をする
伊江中3年生に聞いてみました！

- ①伊江島のいいところは
- ②将来こんな伊江島にしたい
- ③将来の夢について

私たちの未来



①海がマジでキレイ、自然が豊かである。祭りとかのイベントが楽しい。

②島だちしたくないな～、卒業したくないな～って、みんなが思うような島にしたい。

③まだ決まっていないけど、音楽が好きだから音楽関係の仕事に興味がある。



阿良区

ながみね はく
長嶺 羽

東江前区

やまき ゆうと
八巻 勇杜



①海がきれいで、地域みんなが優しい所です。

②みんなが住みやすい所にしたいです。

③人の役に立つ職業をしたいです。

川平区

たいら はる
平良 羽琉



①地域の人達に応援やあいさつなど色々支えてもらったことです。伊江島は、山や海など魅力的で自然豊かな島です。

②海がキレイでいてほしいです。自分はダイビングの資格を持っているので、伊江島に戻って来た時に海がキレイなままでダイビングをしたいと思っていますからです。

③将来の夢は、バスケットボール選手です。興南高校でしっかりと土台を作り、活躍して大学進路を自分で選択し、有名なバスケットボール選手になります。

議会の活動

12月 December

- 1日： 全国町村議会議長会理事会（議長/東京都）
- 4日： 村政功労者表彰式、第50回産業まつり表彰式（全議）
- 5日： 町村議会議長会定例役員会・年末懇親会（議長/那覇市）
- 6日： 北部市町村議会議長会第3回理事会・定例総会（議長/恩納村）
- 7日： 議会運営委員会、議員全員協議会
- 8日： 例月出納検査（虻江監査委員）
- 10日： 「拳聖 新城清優」顕彰碑建立に伴う記念演武会（全議）
- 13日～15日： 第10回伊江村議会定例会
- 20日： 伊江中学校教員宿舍内覧会（全議）
- 22日： ゆり祭り実行委員会（正副議長）



1月 January

- 4日： 二十歳を祝う日（全議）
- 6日： 消防出初式（全議）
県商工会合同新年会（議長/宜野湾市）
- 13日： 例月出納検査（虻江監査委員）
- 15日： 初セリ市（全議）
- 19日： 国・県出先機関の長及び関係団体等と北部市町村との新年会（議長/名護市）
- 23日： 九州各県町村議会議長会協議会（議長/大分県）
- 27日： 北部建設業協会賀詞交歓会（議長/名護市）
- 30日： 町村議会議長研修会・交流会（副議長/那覇市）
- 31日： 町村議会新人議員研修会（知念議員、宮城議員/那覇市）



消防出初式

2月 February

- 3日： 県議会受け入れ（伊江島空港視察及び意見交換会）
- 6日～8日： 全国町村議会議長会理事会・第74回定期総会他（議長/東京都）
- 8日～9日： 定期監査（虻江監査委員）
- 10日： 例月出納検査（虻江監査委員）
- 13日： 町村議会議長会定例理事会、第52回定期総会（議長/那覇市）
- 14日： 県離島振興市町村議会議長会第14回定期総会及び研修会（議員/那覇市）
- 15日： 与那原町庁舎視察
町村議会議員・事務局職員研修会（議員/那覇市）
- 17日： 広報委員会（議長・広報委員）
- 21日： 第1回伊江村議会臨時会（全議）
- 27日： 健康づくり推進協議会（議長）
- 28日： 第4回北部市町村議会議長会総会他（議長/名護市）



与那原町庁舎視察

わたし
私が「いえそん」を
か
書きました!



うち ま よね こ
名前 内間 米子
生年月日 昭和4年4月11日生 93歳
行政区・屋号 東江上区・ウサパンタ

職員からみた米子さん

補聴器を使用してもかなり耳は遠いのですが、とてもしっかりされ、息子さんやお嫁さんのご面会は大変嬉しそうに会話されています。レクではカラオケ大好き。皆さんの前で高いキーでご披露くださいます。題字は、ちょうど息子さんご夫婦面会時に書いていただきました。

あの質問・質疑どうなった!? 平成29年6月定例会
文化協会の設立について



令和元年12月23日文化協会設立総会 役員、事務局

現 令和元年12月に文化協会を設立。コロナ禍において活動が休止状態であったが、令和4年12月のチューパンジャまつりにおいて、第1回文化祭が開催され、賑わいをみせた。

答 村内の古典音楽、民謡、書道等、各種団体の代表者を集めた準備委員会を立ち上げ、内容をしっかり調査検討し、組織体制を整え、文化協会に向け取り組んでいきたい。

質 村内の多種多様な文化の振興に向けて、文化協会の設立に取り組みとあるが、具体的にどのような方向で取り組むのか。

ダウンチュイムニ 独り言 兔年が全てにおいて飛躍する年へ

令和5年兔年、最初の議会広報「いえそん」の発行です。
 3月に開会する定例会は、令和5年度予算案等多数の案件が上程される重要な定例会であり、村経済の発展、住民福祉の向上に向けて、議会と行政の活発な議論が交わされます。
 村民皆様も定例会に関心を持っていただき議会傍聴に参加していただければと思います。
 結びに、本年が、全てにおいて飛躍する年になることを願い、今後とも議会広報「いえそん」をご愛読いただくと共にご意見、ご感想をお待ちしております。

議会広報調査特別委員会 委員長 **並里 晴男**



ちねんかずゆき
知念和幸さん家族

西江上区の家族、現在さとうきび8,000坪の収穫と島らっきょう2,400坪を栽培しています。

議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

(0980) 49-2924 伊江村議会事務局



印刷インキに植物由来の原料を配合して、温室効果ガスの発生を低減しています。



読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。